

大会名	第28回関東高等学校バスケットボール新人大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.2.10	会 場	清原体育館	試合No.	昌 平	12	15	12	27		66
主 審	伊東 龍一	副 審	安藤 裕之	A 4	八千代松陰	17	27	13	24		81

昌平高等学校(埼玉)

コーチ 畔川 秀雄 A・コーチ 佐藤 千菜美 マネジャー 金山 美優

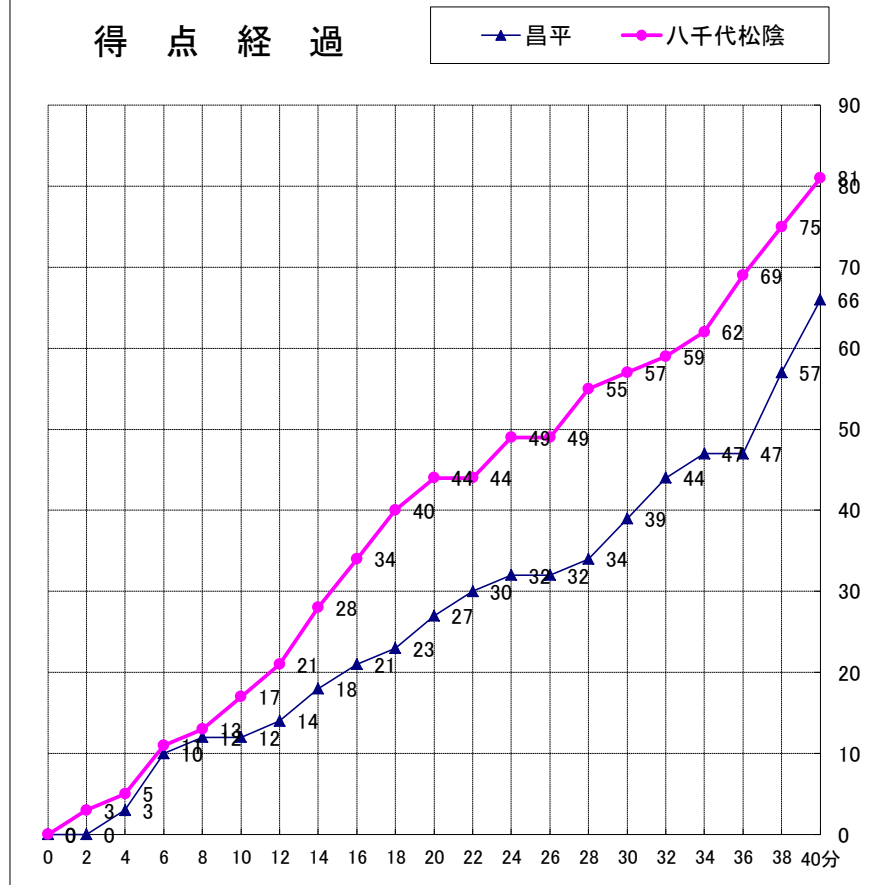
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
東海林 奨	4	19	5	24	1	6	2	4	1	2	8	10
濱出 一紀	5	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
谷川 友規	6	12	0	0	6	9	0	0	3	3	2	5
川合 貴也	7	13	0	0	6	9	1	4	3	4	4	8
菅谷 伊吹	8	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
長里 陸矢	9	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	3
内藤 俊介	10											
山中 基暉	11	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
金井 颯	12	2	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2
高橋 大介	13	2	0	1	1	3	0	2	1	3	5	8
折原 威智	14	12	1	3	4	11	1	2	0	1	3	4
忍田 貴則	15	3	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0
塩崎 優	16	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
栗原 綾佑	17											
鈴木 景大	18											
チ ャ ム										1	3	4
合 計		66	8	32	19	42	4	12	13	17	28	45
		成功率	25.0%		45.2%		33.3%					

八千代松陰高等学校(千葉)

コーチ 堀田 貴司 A・コーチ 平野 克也 マネジャー 伊藤 康一郎

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
磯脇 佑真	4	12	1	6	4	6	1	2	0	1	4	5
工藤 貴哉	5	15	3	10	3	7	0	0	3	2	7	9
松井 裕也	6	15	1	2	4	7	4	5	2	1	5	6
松岡 龍磨	7	15	3	5	2	4	2	3	1	0	6	6
藤巻 俊哉	8	9	1	5	3	5	0	0	1	0	0	0
梶本 賀一	9	0	0	0	0	4	0	0	3	2	10	12
大谷 鴻介	10	2	0	3	1	3	0	0	0	0	0	0
岩満 友斗	11	2	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1
田崎 亜流	12	3	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0
須賀 一斗	13	3	0	0	1	1	1	1	0	2	0	2
深山 開	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西原 雅人	15	2	0	0	1	3	0	0	3	1	0	1
安原 明優	16	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
國津 雄大	17	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
小和田 智史	18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
チ ャ ム										1	2	3
合 計		81	10	34	20	43	11	14	14	12	35	47
		成功率	29.4%		46.5%		78.6%					

得点経過



戦評

1回戦、昌平対八千代松陰。互いにハーフマンツウでゲームがスタート。両チームともアウトサイドシュートがなかなか決まらず、得点が伸びない。八松陰は④磯脇のドライブが光る。昌平もリバウンドを粘り強く頑張り食らいつく。17-12八松陰リードで1ピリ終了。
 2ピリ、序盤からお互いスキルの高い1対1を連発する。八松陰⑤工藤の連続3Pが決まり11点差となった場面で昌平がタイムアウト。昌平はディフェンスを3-2のゾーンに変更し、状況の打開をはかる。しかし、八松陰が冷静に攻略し、逆に点差をひろげる。昌平も終盤インサイドで粘りをみせ、44-27八松陰のリードで前半終了。
 後半、互いにマンツウマン。序盤、八松陰⑥松井が積極的にドライブをしかける。ディフェンスでも激しいボディチェックを繰り返す、昌平にイージーシュートを打たせない。八松陰が57-39にリードをひろげ3ピリ終了。
 4ピリ序盤、昌平の3Pが2本決まり点差を詰める。この流れを断ち切ったのが八松陰⑤工藤。ジャンパー、3P、ゴール下と得点を量産。流れを引き寄せる。残り4分、69-47八松陰リード。八松陰はフレッシュな控え選手を投入。粋の良いプレーを見せる。昌平も⑦川合の2本のアウトサイドシュートで食らいつくが及ばず。
 最終スコア81-66で八千代松陰が勝利。両チームとも個の能力が高い選手が多く、見応えのある好ゲームであった。両チームの健闘を讃えたい。

記入者 杉森 豪